

(別表第1の4)

事業所名今治社協グループホームゆいの家

目標達成計画

作成日：平成 27年 11 月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
3	2	利用者も職員も島内出身者が多く、散歩中に近隣者とできる関係性がある。その中で住民の小さな集まりがあちらこちらに出来ている事に管理者や職員は気づいており、社協として地域つながりを深めるのであれば、インフォーマルな集まりに出向き福祉の専門家として高齢になっても一人暮らしでも安心できる地域づくりに貢献されることを望みたい。	地域の方たち(子供からお年寄り)が気軽に立ち寄っていただく。また、認知症キャラバンメイト養成講座を開催する。	施設全体(利用者、職員、家族)でアピールできるものと考えていき、利用者の今できることを積み重ね披露する場をまた考えていく、引き続き認知症キャラバンメイト養成講座を通して認知症になっても住みよいまちづくりを進めていきたい。	12 か月	
1	20	事業所では利用者の生活歴に、もう一步踏み込んだ支援を始めている。この島で生まれ育っている人が多いため、実家が事業所とあまり離れておらず、時間を作って職員と利用者が実家を訪れたりしているこの取り組みは、始まったばかりでケースとしては少ないが、利用者理解が深められる取組でもあり今後期待したい。	一年に一回その方の笑顔あふれる一日作り	ひとりひとりのアセスメントを深めていき、本人の願いがどこにあるか職員だけでなく、家族にも協力して頂き実現していく。	12 か月	
2	26	現在のモニタリングは、「どうであったか」の評価を各職員から聞き取っており、ポイントを押さえた介護計画で的は得てると思われるが、評価が主観的になりがちなので客観性のある評価を期待したい。	誰もが分かりやすく、評価の仕方の統一を図る。	○×方式に簡単に記載し、×の理由は、必ず記入してく。初めは、簡単な事から取り上げていき、職員全体の専門性を上げていながら、徐々に細かな視点につなげていく。	3 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他(利用者家族には、次のお便りにて報告し、年末の家族会にて話し合いを行う予定です。)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()